

# ほんりゅう 尾北

No.298  
2023・12

■発行■  
尾北教職員労働組合  
■責任者■  
小山晃範(楽田小)

尾北教労 HP



## 子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい学校を！

### ～学校づくりアンケートに寄せられた声から～

尾北教労が行った「子どもが輝く学校づくりアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果は、現状の課題解決に向け、市町教育委員会への要請や校長会との懇談会に活用させていただきます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介し、各課題についてさまざまな角度から考え合いたいと思います。

## コロナ禍以後の状況と対応

◎マスクを外せない子が、まだ多い。  
(高学年)

◎高学年の女の子に、先生マスクとるのはずかしくないの？と聞かれたことがあります。これから先ずっとマスクを人前で外せないのでは…と心配になりました。



◎表情を読み取れない(読み取ろうとしない)子が増えた。

◎コロナ禍以後、不登校や教室に入れない子どもが増えていると感じます。教室より保健室を希望する子どももいますが、保健室もけがや体調不良者の対応があるため、場合によっては全く構ってあげられないこともあります。また、保健室登校の子どもに対応していると、自分の業務は夕方以降にすることになり、負担を感じます。小学校にも中学校のような相談室の設置を進めてほしいです。

◎以前より気楽に欠席する、させるようになった感じがします。

◎今秋、コロナやインフルなどが流行し、行事前になると、校長から前向き給食や、グループ活動でのマスク着用の指示があった。校長に、マスク着用の強制はできない、子ども自身が予防方法の一つとして判断できるようにしたいと話をした。

◎コロナをきっかけに、活動の精選ができていような気がしてよい。

◎小規模校なので柔軟な対応ができる。少人数学級、小規模校のよさがあらためて実感できる。

## 1人1台タブレット

◎使い方をしっかり検討しないと「子どもが主体的に学ぶ」という本来の学びを妨げるものになってしまう心配が大きい。

◎小学校でのタブレットの必要性を感じない。特に低学年。タブレットよりも、字の書き方や座り方

など指導したい内容は山ほどある。

◎教師が使用をコントロールしないと、休み時間に外へも図書館へも行かず、ゲーム(プログラミングされたもの)ですっと遊んでしまう。また、学級によってもタブレット使用のルールがゆるいところがある。

◎家庭に持ち帰った際に壊した時の対応や責任。

◎制限をせず、自由にやればよいと思う。

◎見切り発車が多い。具体的な指示がないまま学校や個人に任せられるのは困る。ルールの策定など。

◎授業で使おうと思っていたものが、そのときにうまく繋がらず使えないことがあり困る。

◎校務データを家でも処理できるようになれば、学校で行わなくてもよい仕事が増える気がする。

◎次から次へと新しいことが入ってきて対応しきれない。対応できないことに対して相談できる環境にない。

◎活用方法を学ぶ場(研修)があると嬉しい。

◎児童のタブレットにデジタル教科書を入れてほしい。

◎生成 AI の誤った使い方に関心を持たないか不安。

◎操作などに不安があり、使いこなす自信がないです。次から次へと増えるため。

◎どこにあるのか、誰が管理しているのかなど全くわからないクラウドというものを信じていいのだろうか。個人データが漏洩することやクラウドを管理しているコンピュータが壊れる、電源が落ちるなどの問題は考えなくていいのか？すごく不安。

◎ICT教育に反対。アンデシュ・ハンセンの「スマホ脳」を読んで下さい。Sジョブズは我が子にiPadをさわらせていない。脳に悪影響を与えるということは様々な実験で分かっています。

◎下を向いてタブレットを見ている子どもたちを見て安心してしまうのが怖い。やはり、顔を上げて教師の顔を見ながら授業を受けさせたい。



## 新たな研修制度

◎強制的なものはいらない。教師自らが受けた研修を受けられるような支援（代わりの先生、講座費用負担など）をすべきだ。



◎学校である程度計画案が示され、作成した。校長から手直しの助言を頂いたが、作成はやはり負担を感じた。

◎今後、給与への影響はあるのか？

◎負担軽減や働き方改革にはつながっていない。

◎あまり意義を感じない。

◎具体的にどうやって進めていくのか、どんな影響があるのか不安。

◎毎年になってしまったので負担が増えている。

◎研修履歴の必要性が理解できない。

◎ただの報告のための記述。面倒に感じている。

◎中堅研などの研修をもっと簡略化したり、提出物を削減したりできないでしょうか。研修も大切だとは思いますが、研修の存在が多忙化を促進していると思います。

◎学校での研修でよいのなら、一括して入力してもらえるといい。

◎本来、研修は何をどう学ぶのか自分で決めて行うもの。履歴は自分だけがわかればよいものです。

◎個人で計画を立てたが、何が研修に該当するのか説明がなく、分からないまま進めるしかなかった。

◎若い先生が多いが研修や現教など全体でのしほりが多い。本来教師は、周りとのコミュニケーションと個々での自立によって育て、育てていくものと思います。

◎隣接校種免許を取る際は、通信制大学などを利用し、自費で単位を取らないといけない。二種免を一種免にするなど、上位の免許にする際は、県教委の研修で単位認定してもらえる。隣接校種免許の単位も、県教委の認定講習で単位認定してほしい。

## 時間外勤務の割り振り

### ・ 休憩・年休など

◎修学旅行や自然教室の割り振りはできている。しかし、挨拶運動や取れなかった休憩などの割り振りはないし、どれだけ割り振りの時間があるのかもわからない。行事の時など早く帰っていいと言われありがたいが、仕事があると帰れない。この時間は割り振りなのか？割り振りであれば別の日に

もらうこともできるのに。

◎学年により、割り振りを平日に取れる学年とそうでない学年がある。

◎学校によって割り振りがあるないがあってはいけない。夏休み開始日も市町で異なるのは疑問、不満。もっと公平な働き方ができるよう要望します。

◎8:30以前や、4:15~4:45についての割り振りはあるが、昼休憩の時間についてはない。

◎宿泊行事の時だけでなく、普段の活動（早朝に来てのライン引き、プール水質点検、土曜日の地域行事参加の引率）でも割り振りをつけてほしい。

◎割り振り変更簿の使い方、休憩がとれなかったときに在校時間記録に反映させること、在校時間を正確に記録することとその意義について、毎年度初めに校長から全職員に説明されるべき。

◎休憩時間が名目だけとなっている。思いきって、8:30~16:00といった、一人一人が勤務時間をズラしてもよい形にならないか。実際は7:30から働いているのだから、1時間早く16:00に堂々と帰れると、子どもの育児に早く向かえて助かる。

◎勤務が8:15スタートになったことで、終了が16:45になった。早く帰れるようになった。これは、とてもありがたいと思った。残っている先生方の残業時間が減るように願っています。

◎前残業、休憩時間のないこと。残業した時間に相当する給料を返してほしい。

◎インフルやコロナは療養休暇の対象にならないのでしょうか。

◎年休をとる際に、理由を校長が聞いている。年休は無因休暇のため、理由を問わないはずである。



## 健康問題と多忙化解消

◎健康面や多忙化全てにおいて職員間のコミュニケーションが大切だと考えます。現職場は、その点において大変円満なため助かっています。

◎若い教員が厳しい保護者の発言に凹んでいるのを見ると、教育の未来に希望を見出せなくなるのではと心配です。

◎学級経営や保護者対応、子どものことで悩み苦しんでいる先生（多くの先生が休みがちに…）に対して、学校によっては学校全体でサポートして下さるところもありますが、学校によっては、学年任せにし、相談にのってくれないところもある。

◎教員の定数を増やしていただくことが1番なのではないでしょうか。

- ◎教員数の増加。養護教諭は複数配置を増やして欲しいです。（非常勤での複数配置でもいいので）
- ◎教員の数を増やすこと。ICT 支援員等の専門的な方の勤務の継続（タブレットの有効的な活用について、また資料作成等に必要）
- ◎学級の人数を減らすこと。やるべきことが減らせないのなら、担当の人数を減らせば仕事の総量は減らせます。それは子どものためでもある。
- ◎これまで当たり前前に思ってたやってきたことの中に時間的にムダなことがたくさんあることに気付きました。それなのに、またもとにもどしていく動きには、おどろきあきれます。私たちの仕事量の多さは、自分たちが作っていることに時々バカバカしさを感じます。
- ◎子ども達への支援、保護者対応、GIGA スクール構想などの新しい取り組み等、教職員一人当たりの負担が大きい。支援をしてくれる人や専門性のある人、もっと現場に人を増やしてほしいです。
- ◎学校教育における不寛容が広がっていると感じる。子どもたちや家庭の困難を思い量るやさしさに欠ける言動に触れると、がっかりする。
- ◎仕事を減らす。パワハラ、セクハラをなくす。学級の人数を減らす。
- ◎賃金が上がればストレスは減るはず。
- ◎事務仕事の軽減や委託。部活動の廃止や委託。個人だけでなく管理職が積極的に進めていくべき。
- ◎担任の多忙さ、空きコマを増やし、週 20 コマがよいが、そうはっていない。通学団がらみのトラブルが多く、その対応に追われがち。通学団の指導は切り離せないものか。
- ◎在校時間をへらせというなら、具体的に何を削減すべきか共に考えてほしい。
- ◎管理職につく人が、心から信頼できる人であってほしい。
- ◎体育担当をしています。プールの水の賠償のリスクがあったり、全校が参加する運動会を仕切ったりするなど、仕事やリスクが大きいのに、手当がないのが不満です。給与が他の教員と同じであるならば、仕事内容や賠償責任など、見直すことが必要ではないでしょうか。リスクは大きく、給与は変わらない。損な役でしかありません。
- ◎行事の精選や事務仕事の簡略化。授業時間の削減。
- ◎学校訪問では、多忙化解消が進んでいるかという点でも、学校経営を評価してもらいたい。
- ◎はやく帰るよう言われるが、はやく帰れば仕事がたまり、あせるばかりです。



## その他

- ◎ラーケーションによる学習補充は行わないといっても、結局やらないと次の時間に困る。その日の課題や連絡を事前に知らせるなども手間。必要ないと思う。
  - ◎ラーケーションでは休暇中の授業内容は保障しなくてよいとのことであったが、学びは連続しているのでやらざるを得ない。
  - ◎個別対応が必要な児童の増加や不登校、保健室登校を希望する子どもたちが増えているため、教員不足を感じている。一人一人にきめ細やかに対応するためにも教員の数を増やしてほしい。
  - ◎小学校高学年での教科担任制を進める上で、英語や音楽など専科の教員が必要。
  - ◎小学校高学年の教科担任制で専門外の教科を学年の全クラスに教えるのは、子どもにとってあまりメリットがない。算数は得意なわけではないが、担任が担当し、クラスの子達の様子を把握したい。
  - ◎発達障害で悩む親子が増えても、対応するスタッフや受診施設が少なく、発達検査 1 つとっても、予約をとれても 4 ヶ月後…といった状況ばかり。発達検査を行える巡回指導教員などの専門家を市町で確保して、直接学校で検査したり、親との面談をしたりしてもらえとかなり違うのではないかな。
  - ◎犬山市のセクハラ案件についてです。市長の名前で手紙が配られてから、児童と教員の距離が離れた気がします。保護者からも、あの手紙でいいのかと、親はセクハラ教員は困るが全員が身体接触を無くして児童と距離を取ることが本当に必要かと言われました。上に立つ人はもっと現場の声を大切にしてください。
  - ◎管理職にパワハラに関する研修をもっと行うべきである。当たり前のようにやっていることもある。
  - ◎仕事の割に賃金が安すぎるのではないかな。ベースアップを（特に講師）
  - ◎どんなことでもそうですが、これが学校で対応することなのだろうかと思うところがいっぱいあるので、そこを精査する必要があるかなと思います。
- ※アンケートには、他にも多くの声が寄せられています。組合ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。
- （「尾北教労」で検索、もしくは右記QRコードから）

